

高橋健保氏(技術専門職員:演習林) 森林管理技術賞受賞

循環型森林管理技術分野 農学系第二技術室長 佐々木 一也

平成27年9月17日、信州大学で開催された平成27年度全国大学演習林協議会総会において、高橋健保技術専門職員に森林管理技術賞(技術貢献賞)が授与されました。この賞は、同協議会が、優れた森林管理技術の開発もしくは普及に多大な貢献をした者に授与するものです。氏の受賞理由は「積雪寒冷地における森林作業道作設技術の開発及び普及指導活動における貢献」です。以下に少し詳しく補足して紹介します。

岩手大学御明神演習林では、平成18年度から、超高密度路網を基盤とする高能率伐出システムの構築を目指し、集中的に路網整備を進めてきました。平成19年度からは林野庁の補助事業である「低コスト作業システム構築事業」のモデル林の指定も受け、路網と伐出作業システムの開発を進めてきたところです。

氏は、平成18年に現四万十町森林組合(高知県)で半月に及ぶ実践研修を受け、全国的に有名な指導者(田邊由喜男氏)から、路網作設技術の修得者としての評価を得ました。

その後、演習林内での路網作設の実践を通じて自身のスキルアップを図りながら、積雪寒冷地(北東北地方)の地況・林況に応じた工夫を重ね、岩手大学方式の路網作設技術の開発に尽力しました。また、その取組を学問的成果としてまとめ、研究業績も積んできています。現在では、岩手県によるオペレーター技術者養成研修、林野庁によるフォレストワーカー研修やフォレストリーダー研修での森林作業道作設研修、路網関係技術者を対象としたOJT研修などの講師を務めるなど社会貢献の大きな推進役にもなっています。

今回の受賞は、これらの功績が大きく称えられたものです。



退職にあたって

持続型農業生産技術分野 教授 佐川 了



平成28年3月末をもって定年退職を迎えました。農場一筋の31年間であります。ほぼ人生の半分を大地の濃密な時の流れの中で東は姫神、西は岩手山に見守られて過ごして参りました。

職員の皆様、多くの学生に感謝します。

人々との語らい中で多くのことを学び、多くの失敗もありました。春の芽生え、夏の植物の息づかい、秋の熟れ色、冬の痺れる冷気の中に立つ樹と山、いずれも私に心地よい勇気と慰撫の感覚を与えてくれました。

この大地に立つ者こそ教育の主体者に相応しいとの感を強くしております。

平成5年の大冷害、平成23年の大震災は忘れ得ぬ出来事でした。折節に思うことでしょうか。まだやれることがあったのではないかと、良くやったのか、忸怩たる思いと同時に自己満足の想いをもって振り返るのでしょうか。

学生の記録ノート(2000~2007)

持続型農業生産技術分野 農学系第一技術室長 赤坂 茂

記録ノートは2000年からであるが、特に岩手山が望め、青々と茂る滝沢農場で昼夜放牧という限りなく自然に近いジャージー牛の飼養に携わることができた中で、忘れることが出来ないのが、臨床繁殖の学生が残した繁殖記録で、品種変更のさなか、共に切磋琢磨した思いが万感胸に迫るおもいです。

◆赤坂さんへ「T-29号は左にやわらかい卵胞20mmがあり、T-30号今日から発情兆候を示し、右に卵胞があり、まだあまり大きくないと思いましたが確認をお願い致します。また、明日午後きます。」

臨床繁殖の学生が記録した大学ノート6冊は日常の中で積み重ねた実績で、貴重な教材として残ると同時に、私の繁殖技術向上として今も活躍しています。



◆記録ノート

退職にあたり

循環型森林管理分野 技術専門職員 齋藤 誠

定年退職にあたり、これまでを顧みますと自然環境と機械の大好きな私は岩手大学農学部滝沢演習林に勤務し、延べ36年間に至りました。3年前には、岩手大学演習林のチームワークを持ってなし得た教育研究基盤の整備を通して演習林の発展に大きく貢献できた事を評価頂き、岩手大学初、全国大学演習林協議会による「森林管理技術賞(特別功労賞)」を受賞することができました。又、幸にも大過なく業務を続け得ましたことも、ひとえに皆様のお力添えのお陰と存じます。ここに厚く御礼申し上げます。振返りますと長くもなく、短かった気がいたします。

今後は従来の経験を生かし明るく納得のいく人生を目指し、最後に皆様様の御発展とご健康をお祈り申し上げます。

御明神牧場産牛精肉販売会の開催

持続型農業生産技術分野長 助教 平田統一

持続型農業生産技術分野 技術専門員 千田広幸

FSC持続型農業生産技術分野では教育・研究活動に付随して生産された農産物を学内向け等に販売してきましたが、これまで御明神牧場の精肉を学内販売したことはありませんでした。平成27年度初めての試みとして、お盆前の8月11日と、年越し前の12月21日の2回、FSCのPRを兼ねて販売会を実施しました。8月に販売した牛肉は、放牧主体に飼養してよく運動し、餌は牧草主体で穀物はほとんど食べていない、日本短角種という岩手県特産の4回お産したお母さん牛でした。12月に販売した牛肉は、ブランド牛になる黒毛和種という品種でまだ1回も出産を経験していない、牛舎で穀物を食べ少しサシ（筋肉脂肪）が入った高級肉でした。精肉の販売にあたって、御明神牧場では

売所の許可を受けました。牛は、(株)岩手畜産流通センター（イワチク）で衛生的に処理・パック詰めしました。いずれも市価よりも大幅にプライスダウンし、販売開始後30分程度であらかた無くなってしまったこと、単価は安いものの最小1kgパックで実売価格が高くなったことは反省点です。FSCでは今後とも、農産物を含め教職員の皆さまに喜んでいただけるような販売会を行ってまいりますのでどうぞご愛顧をお願いいたします。



平成27年度 エクステンション活動一覧

職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの

① 第12回 森林マルチエンジニア養成アドバンススクール	H27. 5/18(月)～5/22(金)
② 第50回 フォレストテクニカルエクステンション ー素材生産者のための造林技術プログラムー	6/24(水)
③ 第51回 フォレストテクニカルエクステンション ー人工林施業プログラム(3)ー	8/5(水)
④ 第52回 フォレストテクニカルエクステンション ー岩大型作業路普及プログラム(29)ー	10/27(火)～10/28(水)
⑤ 第53回 フォレストテクニカルエクステンション ー地域林業支援プログラム(6)ー	10/29(木)～10/30(金)
⑥ 第54回 フォレストテクニカルエクステンション ー循環型森林管理技術普及プログラム(11)ー	11/9(月)
⑦ 第55回 フォレストテクニカルエクステンション ー岩大型作業路普及プログラム(30)ー	11/10(火)～11/13(金)
⑧ 第56回 フォレストテクニカルエクステンション ー岩大型作業路普及プログラム(31)ー	11/12(木)～11/13(金)
⑨ 第57回 フォレストテクニカルエクステンション ー岩大型作業路普及プログラム(32)ー	11/16(月)～11/17(火)
⑩ 第58回 フォレストテクニカルエクステンション ー地域林業支援プログラム(8)ー	12/3(木)

一般市民・児童生徒を対象とするもの

① イーハートブの森と家づくりフォーラム 植林体験	H27. 5/10(日)
② 公開講座 第128回 フィールドセミナー 植物観察シリーズ(18)	6/7(日)
③ 第129回 フィールドセミナー 総合的学習時間における森林学習(35)	7/7(火)
④ 第130回 フィールドセミナー 総合的学習時間における森林学習(36) ー技術職員と学ぶ森林作業ー	7/8(水)
⑤ 第131回 フィールドセミナー NPOへの森林管理技術講習会	7/13(月)
⑥ 第10回 哲学者 内山 節氏を迎えての「哲学の森」	8/29(土)～8/30(日)
⑦ 牧場体験 親子で協力し合う牧場体験 ー牛のエサを作ろうー	9/5(土)～9/6(日)
⑧ 公開講座 第132回 フィールドセミナー 植物観察シリーズ(19)	10/4(日)
⑧ 公開講座 第133回 フィールドセミナー 親子シリーズ(17)	11/15(日)
⑨ 公開講座「かんじきを履いて冬の森を歩こう」	H28. 2/14(日)
⑩ 公開講座 第134回 フィールドセミナー 親子シリーズ(18)	3/27(日)

センター開放的事業

① ブルーベリー摘み取り販売	H27. 7/15(水)
② ブルーベリー摘み取り販売	7/29(水)
③ 第13回 森の駅市場	8/6(木)
④ 御明神牧場牛肉の販売会	8/11(火)
⑤ 第14回 森の駅市場	12/4(金)
⑥ 御明神牧場牛肉の販売会	12/21(月)

岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

〒020-8550 盛岡市上田3丁目18-8 TEL:019(621)6234

E-mail:fsciu@iwate-u.ac.jp http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~fsciu/

発行責任者／寒冷フィールドサイエンス教育研究センター長 澤口 勇雄
編集責任者／寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 山本 信次